

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【公表番号】特表2009-517259(P2009-517259A)

【公表日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-017

【出願番号】特願2008-541604(P2008-541604)

【国際特許分類】

B 6 0 N 2/42 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/42

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月23日(2009.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コイルボディ(14)内および/または作動磁石(12)のハウジング部分内で案内される作動磁石(12)を有する、制御部分(10)のためのアンロック装置であって、

作動部分(16)を有し、前記作動部分(16)は第1の軸(20)に沿って移動可能であり、かつ、作動位置において第2の軸(26)を中心に揺動可能に配置された制御装置(24)のための揺動路(22)を解放し、

制御装置(24)がロック部分(30)を有し、前記ロック部分(30)が、前記作動部分(16)を用いて制御装置(24)を介してアンロックされて、駆動すべき制御部分(10)のための移動路(32)を解放する、前記アンロック装置において、

制御装置(24)が、第2の軸(26)を中心に揺動可能にハウジング部分(28)内で案内されている揺動レバー(34)を有しており、

第2の軸(26)が、第1の軸(20)に対して平行に延びており、

作動磁石(12)が作動されない状態において、揺動レバー(34)の一方の自由端部が、作動部分(16)と添接しており、かつ、

揺動レバー(34)の他方の端部に、ロック部分(30)が設けられており、前記ロック部分によって制御部分(10)がロック位置に保持されている、

ことを特徴とする制御部分のためのアンロック装置。

【請求項 2】

作動磁石(12)が作動された状態において、制御部分(10)がエネルギー蓄積装置を用いて揺動レバー(34)のためのアンロックを誘起し、前記揺動レバーが第2の軸(26)を中心にアンロック位置へ揺動する、ことを特徴とする請求項 1 に記載のアンロック装置。

【請求項 3】

作動磁石(12)が、カップ形状に形成されて、リング形状のコイルボディ(14)を有しており、前記コイルボディが作動部分(16)として、円形または多角形断面の作動ロッドを有している、ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のアンロック装置。

【請求項 4】

制御部分(10)が、弓形ばねで、形成されており、

アンロックされた状態において、前記弓形ばねのエネルギー蓄積装置がばねエネルギーの形

式で、ばねのために制御装置（２４）の、移動路（３２）に沿って、第１および第２の軸（２０、２６）に対して平行に延びる第３の軸（４２）を中心とする、揺動戻りを可能にする、

ことを特徴とする請求項１から３のいずれか１項に記載のアンロック装置。

【請求項５】

弓形ばねが二重弓形ばね（２０）の形状を有する、ことを特徴とする請求項４に記載のアンロック装置。

【請求項６】

制御装置（２４）のロック部分（３０）が、鉤付開口部（３６）の形式で形成されている、ことを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載のアンロック装置。

【請求項７】

揺動レバー（３４）が、その一方の、作動部分（１６）へ向いた自由端部において、爪状に細くなる湾曲を有しており、前記湾曲が少なくとも部分的に、作動部分（１６）の外周面の湾曲に従うことを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載のアンロック装置。

【請求項８】

二重弓形ばね（４０）の弓形部分（４４）が、ロック位置において制御装置（２４）のロック部分（３０）内へ嵌入し、かつ

二重配置に該当する２つのラウンドばね（４６）が、第３の軸（４２）を定める、ことを特徴とする請求項１から７のいずれか１項に記載のアンロック装置。